

市川市立北方小学校  
学校だより  
**きたかた** 2月号<sup>2019</sup>

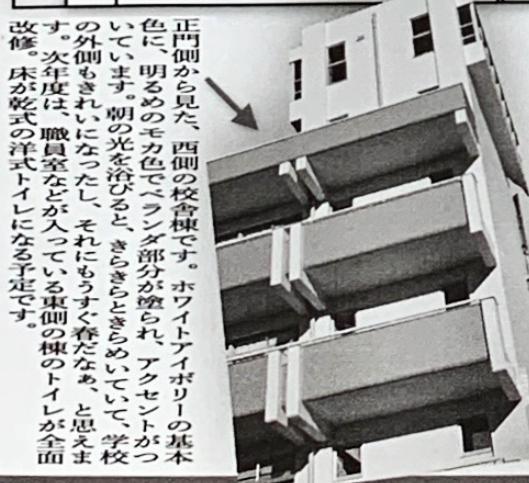


当たり前のこと、ばかにしないでちゃんとやっているかな!?をみんなで再確認の北方小2月-3月

2018.12保護者アンケートの結果です

「4」+「3」の割合 パーセント

	評価項目 (1~12:市共通項目)	評価結果 (%)		
		H30.12	30.7	29.12
確かな学力	1 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	90.7	89.6	90.9
	2 お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	63.3	60.1	66.1
	3 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	71.6	71	76.3
豊かな心	4 お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	72.7	72.6	74.6
	5 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	88.4	82.8	86.5
	6 お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	93.7	95.3	95
健やかな体	7 お子さんは、すすんで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	77.1	77.6	79.4
	8 お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。	82.8	76.4	88.3
	9 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身についている。	83.4	85.4	84.8
信頼される学校	10 学校は、たより等で学校の様子を十分に保護者に伝えている。	94.5	92.3	92.5
	11 学校は、保護者や地域の方が、学校行事等に参加しやすいように努めている。	93	94	92.3
	12 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	88.8	92.3	92.8
北方小独自項目	A 学習したことを理解し、学力が向上している	80.9	81.8	81.8
	B なかよし活動・グループ活動を楽しんでいる	82.1	86.2	85.8
	C 健康を考えて生活している	66.2	72.1	72.1
	D 学校は安全確保に努めている	95.9	96.9	96.9



本年度2回目の保護者アンケート(12月実施)、ありがとうございました。

数値を見ておりますと、「確かな学力」の項では、前回よりも、肯定的捉えが少しあがっています。「学力」の捉え方は様々ですが、2030年の社会人を見越している今次の学習指導要領改訂では、「学びに向かう力」を家庭と学校とで養っていくことが、幼稚園保育園段階から高等学校段階までを通じた共通の養いたい三本柱の一つとしてあげられています。<sup>1)</sup> 学習指導要領は日本の学校カリキュラム作成の根本原理を示します。

幼稚園保育園段階で、人と共感し協働しようという「非認知的能力」を芽生えさせようと家庭と園とで子供を育て、小学校中学校では、自分たちで学んでいくことへの興味と楽しさと、学んだことを組み合わせて自分なりに考えていくことの楽しさ・軽快さを味わわせ、社会へと出していく一步前の高等学校の学びへと繋いでいきます。同じ捉えが、「豊かな心」の項の「挨拶して人とつながろう(少し上昇・現状維持)」「自分の役割をしっかりと果たしていくことが大事(6ポイント近く上昇)なんだな」という心持ちを育てていくことも繋がります。ひとりで、も大切ですが、誰かさんと一緒に仕事したり学んだりすること、とても大事と考えます。学校だより9月号で「家庭と学校の両輪で」と書かせていただきました。今回のアンケート結果で、ご家庭、学校、それぞれに考えることがあると考えます。安全意識が6ポイントアップ、はすごいと思っております。自分で身の安全を意識しながら大きくなって欲しいですし、「学校は安全確保に努めている」の微減、「学校は、保護者の思い

や願いに対して適切に対応しているか」の3.5ポイント減。どうかと気を引締めて参りたいです。

2月から3月。当たり前だけれど大切なこと、しっかりとできているかな、の再確認、よろしくお願ひいたします。

読み聞かせ「たんぽぽ」の皆さんと山本先生「たんぽぽ」は、20年以上の歴史。今年度は、25人のお母様方で10回担当(一人4回担当)してくださった。OG、現役のお母様方の団体で、昨日が本年度最終。選書や本に関する情報交換の様子をパチリ。ありがとうございます。

ヘルメットで頭守つください  
自転車に乗る時